



19022001

2019年2月20日  
株式会社テンフィートライト

## テンフィートライトの災害時 ICT サービス『ゆいぼた<sup>®</sup>』 熊本地震の経験から、マンションの「共助」を促進するため ホームパートナーズが管理する全マンションへ提供を開始

マンション向けインターネット接続サービスおよび住生活に役立つアプリケーションやソフトウェアの開発・販売を日本全国で展開する株式会社テンフィートライト（本社：東京都中央区、代表取締役：相川 太郎、以下「テンフィートライト」）は、災害時の共助を育む災害時 ICT サービス『ゆいぼた<sup>®</sup>』（以下『ゆいぼた<sup>®</sup>』）を自社で開発・販売しております。

この度、『ゆいぼた<sup>®</sup>』は、株式会社ホームパートナーズ（本社：熊本県熊本市、代表取締役：坂井 将一、以下「ホームパートナーズ」）が管理を受託するすべてのマンションへ提供が決定し、2019年2月1日より提供を開始しましたのでお知らせいたします。

### ◆提供決定の背景◆ ～熊本地震発生時のマンション管理会社の課題～

今回災害時 ICT サービス『ゆいぼた<sup>®</sup>』の提供を開始したホームパートナーズは、2016年4月14日に発生した「平成28年熊本地震」で被災した経験があります。

平成28年熊本地震の際には、マンション住民から「外出先でマンションの被害状況がわからない」「電気や水道など生活インフラの復旧情報を知りたい」「建物強度はどうなのか」などの問い合わせが多く寄せられ、地震発生が夜間だったことやホームパートナーズ社員も被災していたため業務体制が整わず、コールセンターもパンクしてしまう状況でした。その中で最大限の対応をしたにも関わらず、やはり限界もあり、結果として十分な対応ができずマンション管理会社として住民からの期待に応えられなかった反省がありました。

また、マンション住民も「ラジオなどのマスコミ報道ではマンションの状況が分からない」「隣近所の人との連絡先が分からない」などの状況では、管理を委託している管理会社に問い合わせるしかない状態でした。

このような経験から、ホームパートナーズでは大規模災害発生時にマンション住民が自ら情報を入手、共有して外部に頼らず自走できる「共助」の環境を創り出すことを課題としていました。

### ◆ホームパートナーズの取り組み◆ ～課題解決に向けて～

ホームパートナーズでは前述の課題解決を図るため、災害時の「共助」環境を作り出す仕組み、情報を住民が自ら入手・共有することができるシステムの導入を模索していました。



熊本地震の際には、一般的に利用率の高い個人連絡用 SNS で住民同士がグループ作成して連絡を取り合った例もありましたが、通信の量（連絡の数）が増えると電池の消耗も早くなり、煩雑になってしまう事や、平時からあまり隣近所との関係を深くしたくない方も存在するのが現実なので、平時に戻った時に煩わしいと感じる例もあるようでした。

その中でテンフィートライトの災害時 ICT サービス『ゆいぼた<sup>®</sup>』が平時には負担にならず利用でき、災害時だけ「共助」の環境が創り出せる仕組みであることに注目し、管理受託しているマンションに導入することでマンション住民に災害時のサポートを提供できるだけでなく、マンション管理会社としてさらなるサービスの充実につながると判断しました。

そこで今回、ホームパートナーズでは『ゆいぼた<sup>®</sup>』を管理受託するすべてのマンションに提供することを決定しました。この迅速な決断は、九州地区において災害対応への取り組みが注目されている熊本に本社がある会社ならではのものでもあります。

ホームパートナーズでは 2019 年 2 月 1 日を皮切りに、管理受託している 22 棟のマンションへ順次提供を開始していく予定です。

#### ◆テンフィートライトの取り組み◆

テンフィートライトでは、システム提供だけでなく提供マンションへの説明ツールの協力やフロント担当者、管理員への支援など、円滑な導入・運用を支援してまいります。

当社は、これからもマンション・住宅において居住者がより便利で快適な生活を送れるよう、インターネットを利用した先進的ソリューションサービスを開発、販売し続けてまいります。

#### <災害時 ICT サービス『ゆいぼた<sup>®</sup>』>

本サービスは、災害時においてマンション居住者や地域住民（以下、「居住者」）同士の共助を支援する SNS サービスです。気象庁発令の緊急地震速報に連動して災害モードが起動、家族内での安否確認と居住者間での救助要請情報・要配慮者情報の共有など「共助」を促進します。さらに居住者間での情報交換や連絡先を知らなくても連絡ができる「住戸間連絡」、管理者からのお知らせ機能などにより、災害時の各居住者の必要な情報が、信頼できる相手から入手できる環境が整います。また平時においては防災マニュアルや備蓄品情報等の閲覧ができ、さらに「家族の安否確認訓練」と、「バーチャル防災訓練」の備災プログラムにより、家族とマンション、地域全体の「備災力（びさいりょく）」を向上させることができます。

（特許第 4282001 号 安否確認システム並びに安否確認サービスの提供方法を使用）



◆災害時 ICT サービス『ゆいぼた®』提供実績◆

1,029 棟 55,835 戸（2019 年 2 月 1 日時点、マンション・自治会の合計）

●災害時 ICT サービス『ゆいぼた®』公式サイト

「ゆいぼた」で検索してください。



●『ゆいぼた®』動画

You Tube で「テンフィートライト」と検索  
（テンフィートライト公式チャンネル）



<株式会社テンフィートライトについて>

株式会社テンフィートライトは、インターネットマンションが世に出始めたばかりの 1990 年代後半より、マンションに特化したインターネットサービスを日本全国で展開してきました。インターネットマンション向け ISP サービスの専門事業者として積みあげた経験とノウハウをもとに、さらに便利で快適な「ネットのある生活」提案を目指し、サービス分野を拡大しています。

会社名 : 株式会社テンフィートライト

所在地 : 〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目 16 番 11 号

日本橋セントラルスクエア 7F

代表者 : 代表取締役 相川 太郎

事業所 : 東京、大阪、高松、福岡

資本金 : 6,000 万円

提供実績 : マンション ISP 提供戸数約 691 棟 50,783 戸（2018 年 10 月 1 日現在）

会社HP : <http://www.1Ofw.co.jp>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社テンフィートライト TEL : 03-6895-3048 FAX : 03-6895-3049

広報担当 城戸(きど) Mail : [press@ml.1Ofw.co.jp](mailto:press@ml.1Ofw.co.jp)